

科目名 (英文名)	ソフトウェア構成論 Software Design and Development	担当者	大里延康 中西道雄 安留誠吾
講義方針	アルゴリズム・データ構造・プログラミングの神髄に迫る名著を採り上げ、内容の講義および演習課題とその発表・討論を行わせる。		
講義内容	良質のソフトウェアを作り上げるという課題について学習する。良質のソフトウェアの作成を、プログラミングの根源である、対象としている問題を深く考察し、その問題の本質を見極めたアルゴリズムやデータ構造を選択ないし設計する、という観点から追究する。こうした深い考察に基づいたプログラムは明解で効率よいものとなる。このような、プログラミングの根源にさかのぼって考究する機会を持たせることを主眼として、良書の講読を軸に、プログラミングの実践および発表・討論を主体とした授業を行う。		
講義計画	1.Introduction	8.Programming Pearls 講読・演習(その7)	
	2.Programming Pearls 講読・演習(その1)	9.Programming Pearls 講読・演習(その8)	
	3.Programming Pearls 講読・演習(その2)	10.Programming Pearls 講読・演習(その9)	
	4.Programming Pearls 講読・演習(その3)	11.Programming Pearls 講読・演習(その10)	
	5.Programming Pearls 講読・演習(その4)	12.Programming Pearls 講読・演習(その11)	
	6.Programming Pearls 講読・演習(その5)	13.Programming Pearls 講読・演習(その12)	
	7.Programming Pearls 講読・演習(その6)	14.まとめ	
評価方法	課題レポート、輪講及び発表内容、討論参加状況などから総合評価する。		
教材	書名	著者名	出版社
	(教科書)Programming Pearls (Second Edition) [和訳]「珠玉のプログラミング」	Jon Bentley [和訳者] 小林 健一郎	ACM Press (Addison-Wesley) [訳書]ピアソン・エデュ ケーション
受講心得	プログラミングによる問題解決を、その問題構造の本質的分析を基盤として行おうとする姿勢で取り組むことを学ぶので、採り上げる課題について自ら積極的にプログラミングに取り組むこと。なお、教科書は邦訳書を用いる。		